

NEANET・OOA新研

**ポスト・コロナ期観光の
V字回復を目指して
ー北東アジア&観光立国ニッポンを中心にしてー**

鈴木 勝

**大阪観光大学名誉教授
(元・桜美林大学教授)**

**北東アジア輸送回廊ネットワーク(NEANET)理事
OOA新研究会会員**

E-mail: masarusuzuki0308@gmail.com 1

<目次> 「ポスト・コロナ期観光のV字回復を目指して
ー北東アジア&観光立国ニッポンを中心にしてー」

1. はじめに

2. コロナ禍大打撃の国際観光と“観光立国ニッポン

3. 復活シナリオ

1)「国内観光復活」

- ・旅行消費額(日本人 vs. 訪日インバウンド)
- ・ライフスタイルの変化による「旅行形態の変貌」
- ・「今後のインバウンドー“健全 & 安全”なビジネス・モデル作りを！」

2)「国際観光復活」

「コロナ感染拡大の抑止」「海外諸国の柔軟な対応」「厳格な防疫態勢」

- ・「ビジネストラック」「レジデンストラック」「トラベルバブル」
- ・「海外旅行客・受入(ワクチン接種条件)」

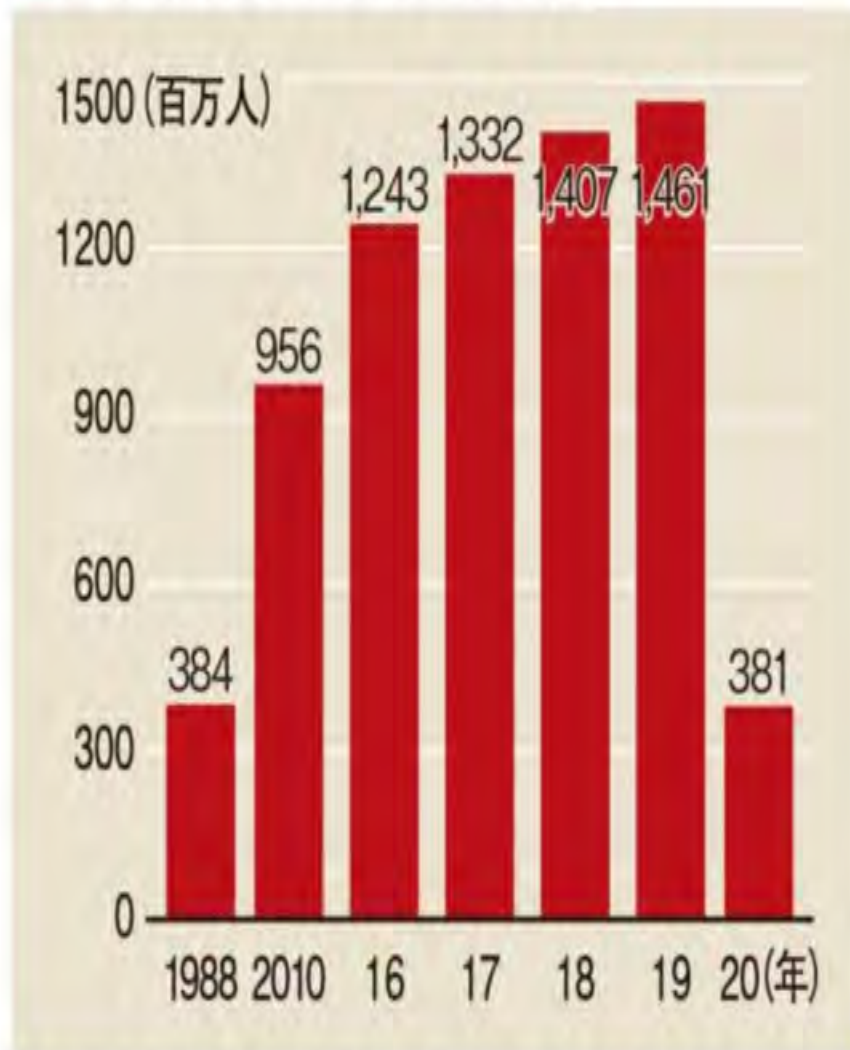
4. 北東アジア地域の復活 & 振興<国際観光(双方向)復活の鍵>

- ・「今後の北東アジア一国々に応じた復活 & 振興手法ー」
[各国の展望]「中国」「韓国」「ロシア」「モンゴル」
- ・「(北東アジアでの)注目ツアー & 客層」

5. 最後に:「TWOWAY TOURISM(双方向交流)」の推進

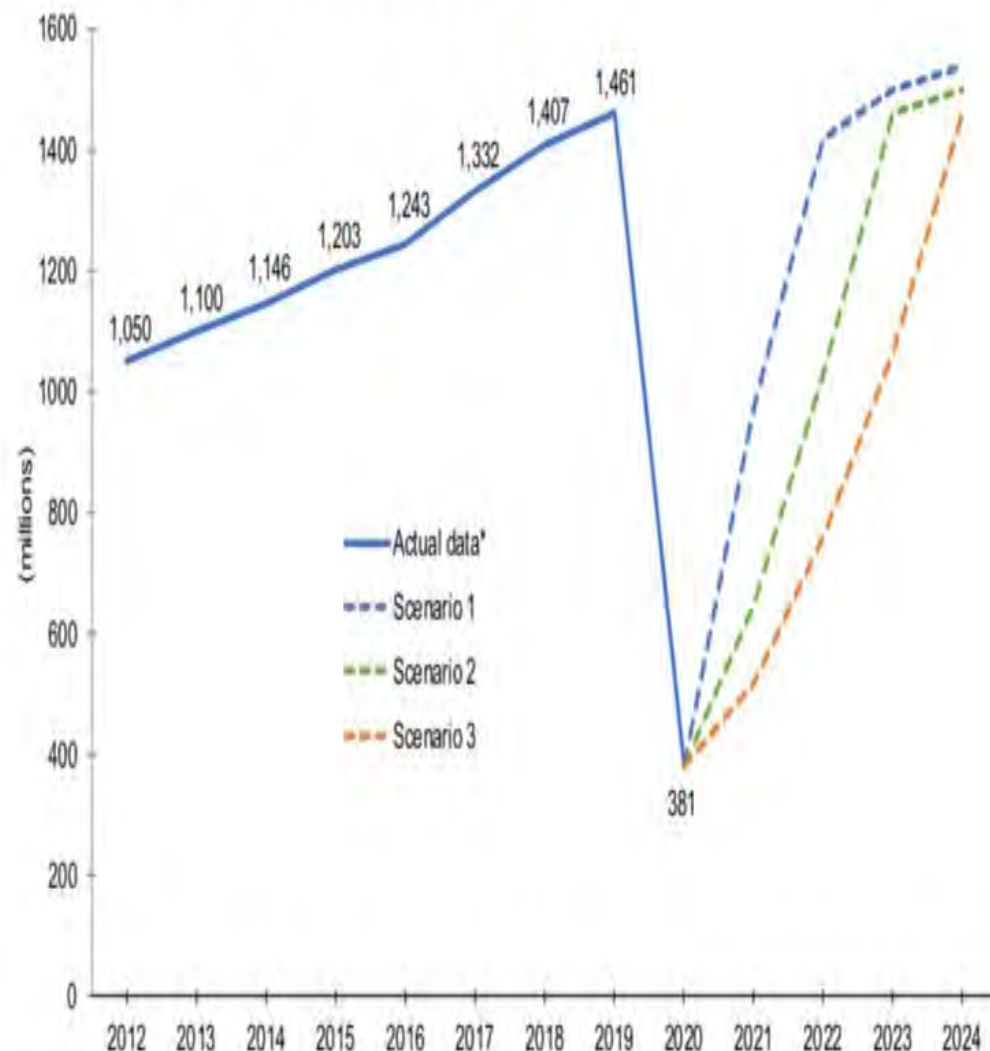
2. コロナ禍大打撃の国際観光と“観光立国ニッポン”

●国際旅行者数の推移



資料：UNWTO ※宿泊を伴う旅行者の到着数

International tourist arrivals: Scenarios for 2021-2024 (millions)



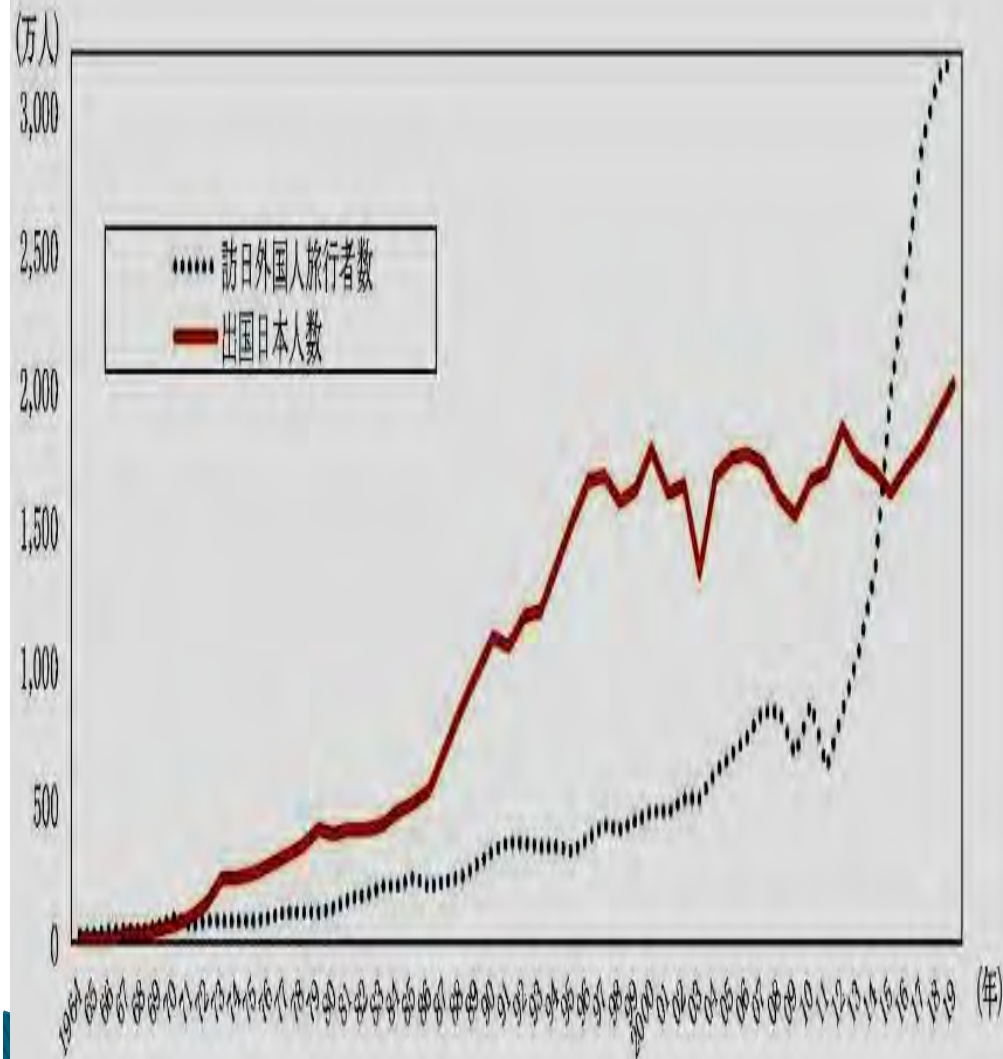
Source: World Tourism Organization (UNWTO)

(Data collected January 2021)

* Actual data for 2020 is preliminary and based on estimates for countries which have not yet reported results.

「訪日外国人旅行者数と出国日本人数の推移」

(観光庁「観光白書2020」)

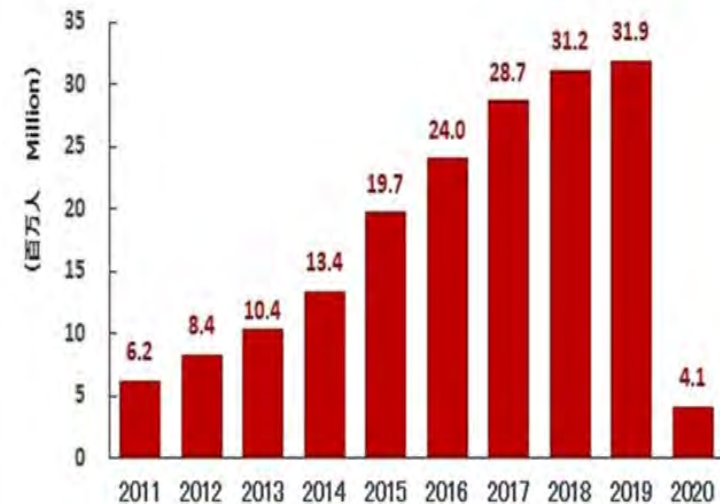
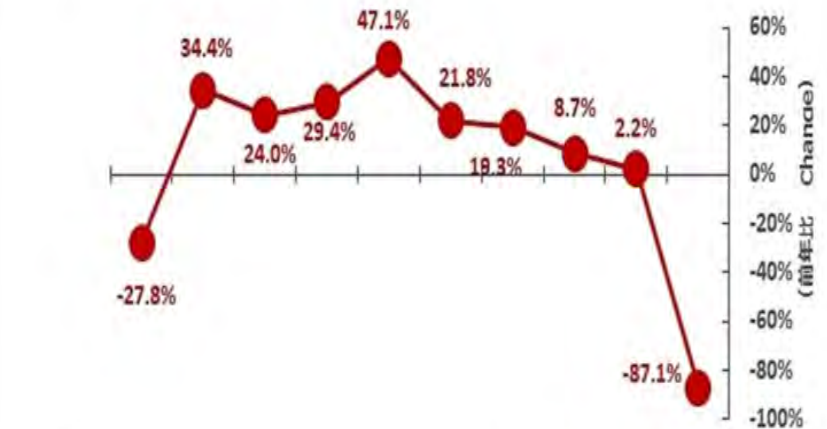


資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成

訪日外国人数 直近10年間 2020年版

Visitor Arrivals to Japan for last 10 years — 2020

travel
voice
www.TravelVoice.jp



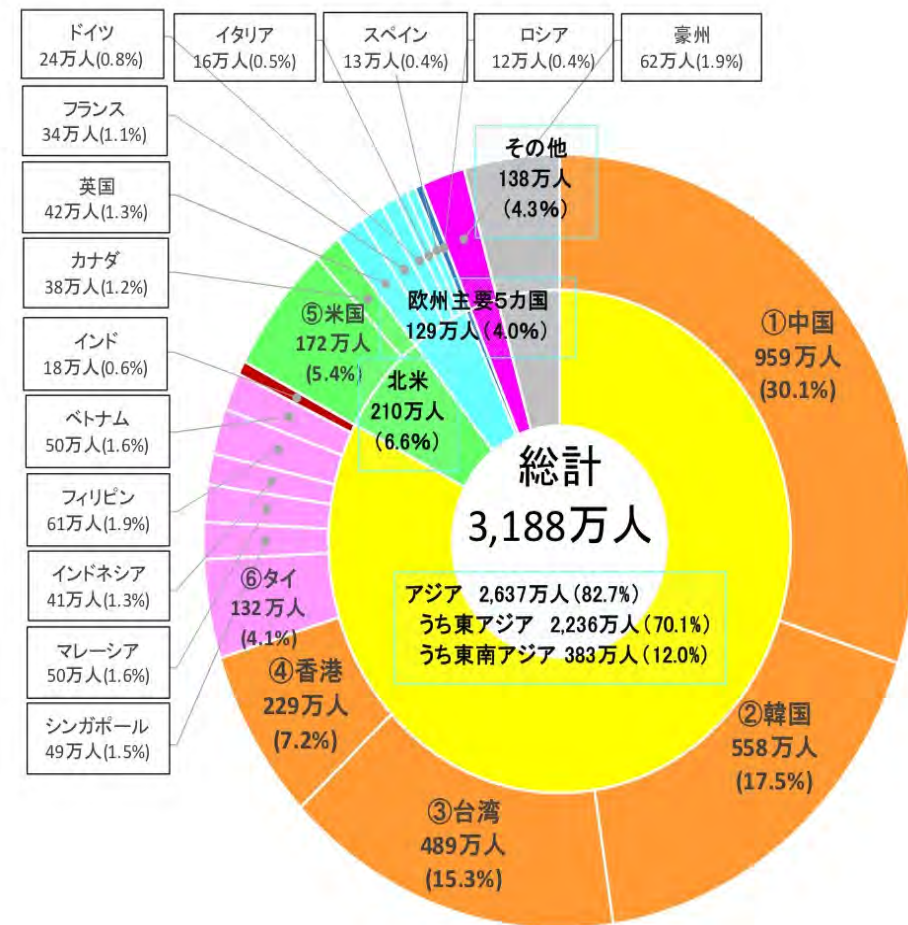
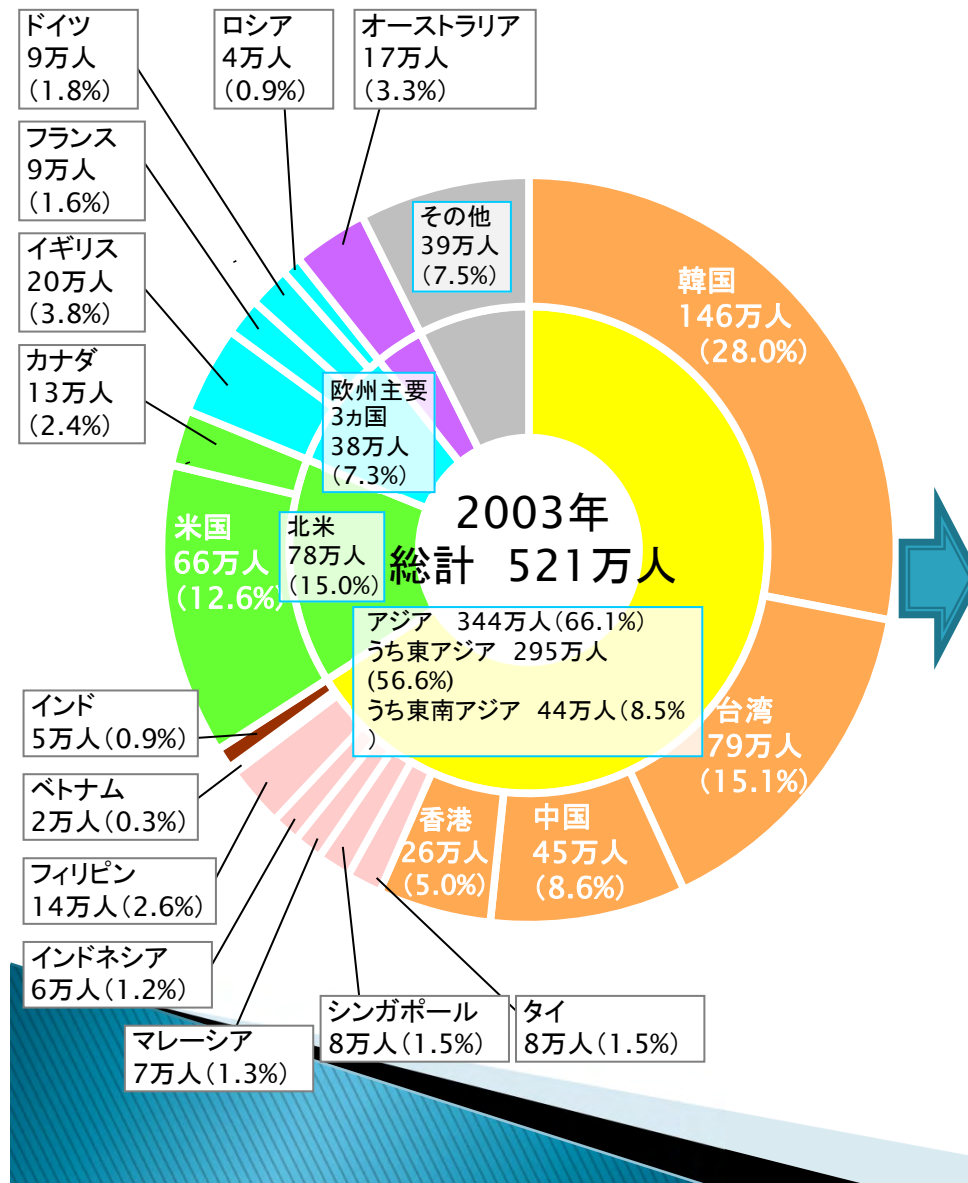
出典：日本政府観光局 Source: Japan National Tourism Organization

訪日外国人旅行者数及び割合(国・地域別) (ビジットジャパン・キャンペーン⇒2019)

【2003年】521万人

【2019年】
3,188万人

(図表 I -11) 訪日外国人旅行者の内訳
(2019年)



資料：日本政府観光局資料に基づき観光庁作成

注1：()内は、訪日外国人旅行者数全体に対するシェア

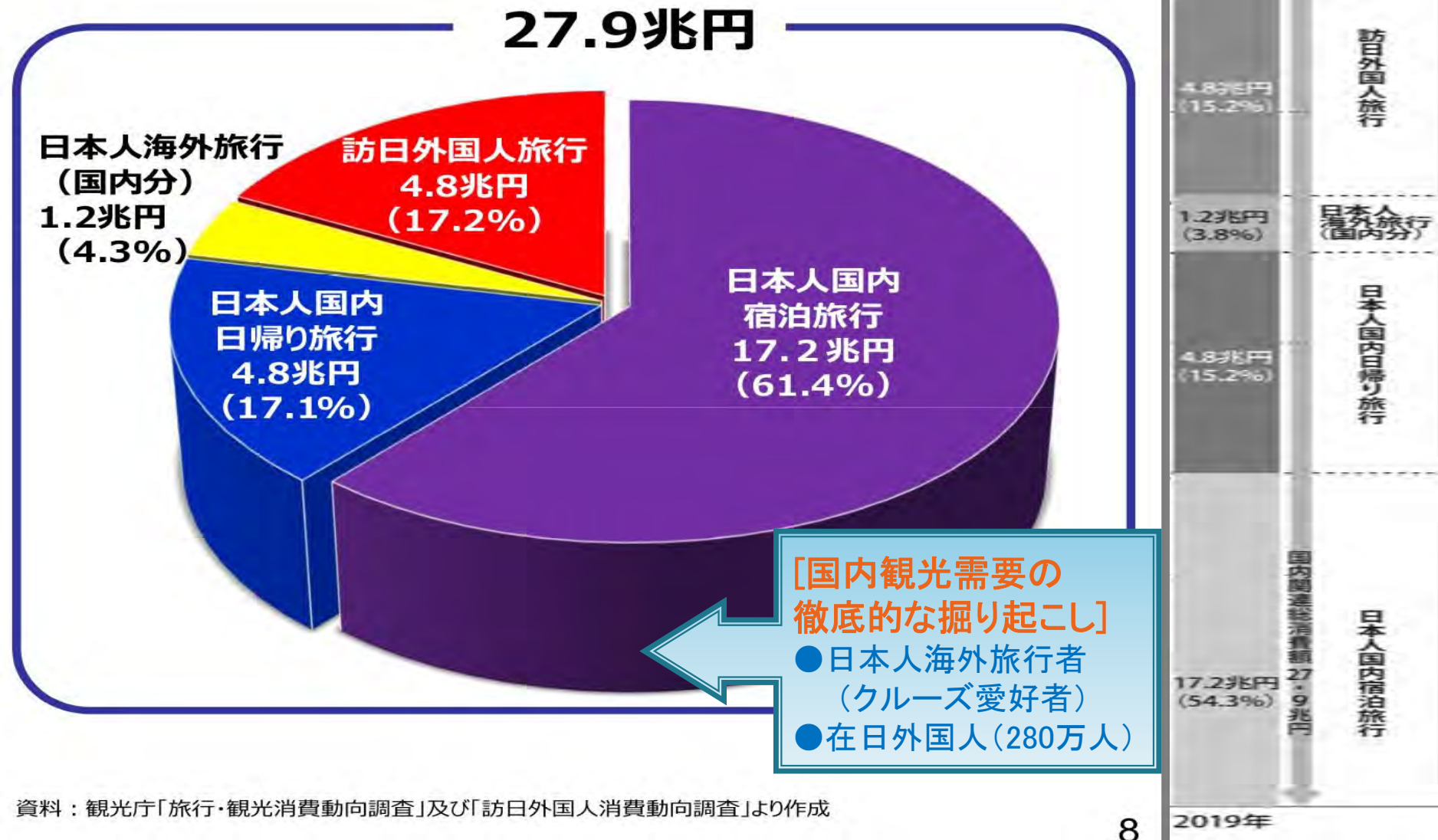
注2：「その他」には、アジア、欧州等各地域の国であっても記載のない国・地域が含まれる。

注3：数値は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しない場合がある。

3. 復活シナリオ 1)「国内観光復活」

[観光白書2020]

(図表 I -31) 日本国内における旅行消費額



「ライフスタイル変化による旅行形態の変貌」

ワーケーションとは…

(資料:観光庁)

Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。

テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普通の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事をすることです。休暇主体と仕事主体の2つのパターンがあります。

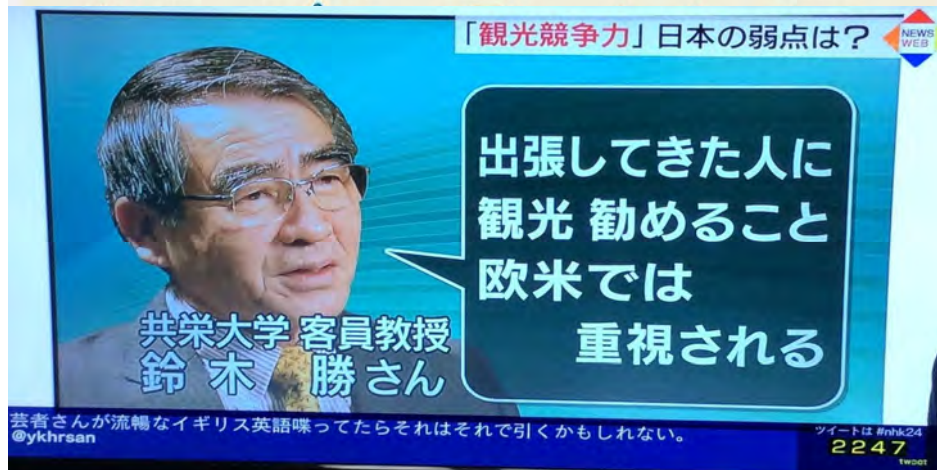
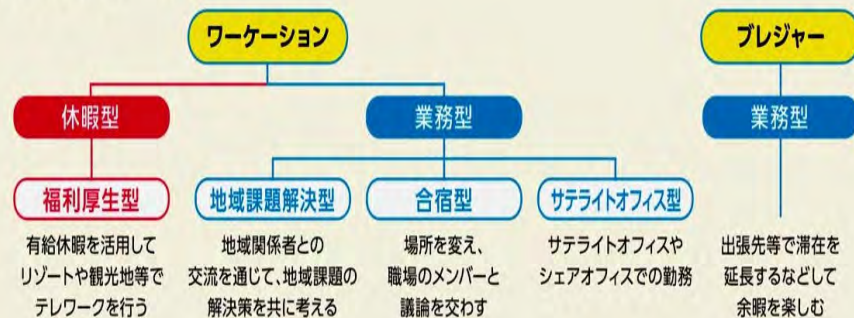
ブレジャー(ブリージャー)とは…

Business(ビジネス)とLeisure(レジャー)を組み合わせた造語。

出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむことです。

資料:観光庁HP「新たな旅のスタイル・ワーケーション&ブレジャー」
抜粋

実施形態(イメージ)



●団体旅行⇒FIT(個人旅行)化

一人旅・ファミリー旅行

●都会派⇒自然・地域・滞在派

エコツーリズム・グリーンツーリズム・ファームステイ・(地産地消)フードツーリズム・近場ツアー(従来の「安近短」ではない)

●一般観光⇒SITスペシャルインタレスト

・ツアー(コト消費型の「体験型観光」)

●一般観光⇒アクティビティー化

▶アドベンチャー・ツーリズム

ハイキング・トレッキング・サイクリング・キャンプツアー・ボーダー(国境)ツアー

●一般観光⇒SDGs(持続可能な開発目標:エコツアーetc.)

●一般観光⇒「REAL+ONLINE」(併用)

●短期⇒長期化

ワーケーション・ブレジャー・ロングステイ

●休日・集中型⇒分散化(休日・方面)

2015年5月8日(金)NHK NEWSWEB

「世界観光競争力ランキング」

「“健全 & 安全”な観光ビジネス・モデル作りを！（日本インバウンドに向けて）」

●「観光リーケージ対策」(ZERO-DOLLAR TOURISM)

・・・観光収入が地元還元されず、外部に漏出する現象。

(違法な「通訳ガイド」・「白タク」・「観光バス」・「民泊」・「旅行手配」etc.)

[望ましい例：日帰りクルーズ⇒フライ&クルーズやオーバーランド(陸地)ツアーに]

●日系企業(例：旅行業)のより積極的な、インバウンドへの関与・・・これにより、「オーバーツーリズム(観光公害)」や「観光危機管理(台風、地震)etc.」で、大いなる力を発揮する。

「(日系)旅行会社の営業状況」

＜主要旅行業者(2019年度)・観光庁発表2020＞
(2019年4月分～2020年3月分)

業務区分	取扱額シェア(%)
海外旅行	35.2
外国人旅行	4.7
国内旅行	60.1
合計	100.0

「日系旅行会社は、
インバウンドをほとんど、
取り扱っていない」

3. 復活シナリオ 2)「国際観光復活」

☆「コロナ感染拡大の抑止」「厳格な防疫態勢」「海外諸国の柔軟な対応」

(ビジネス、実習生/留学生、VFR親戚知人訪問、一般観光etc.)

●「ビジネストラック」「レジデンストラック」(渡航:短期 & 駐在など長期)

●「トラベルバブル(TRAVEL BUBBLE)」

(特定の条件が満たされたバブル[泡]の中の人々だけが自由に行き来)

例:「オーストラリア & ニュージーランド」(4月19日開始)

▶ 「バルト三国」(エストニア、ラトビア、リトアニア)

▶ 「香港 & シンガポール」(5月26日開始予定⇒急遽、中止)

「台湾 & パラオ」(4月1日開始⇒急遽、中止)

● <新規>「海外旅行客・受入」
(ワクチン接種/ワクチンパスポート)

▶ 「ギリシャ・イタリアetc.」(5月中旬)
(ワクチンツーリズム&バケーション)

「南米⇒アメリカ(テキサスetc.)」

▶ ☆「国際観光活性化・熱意 & 手法」

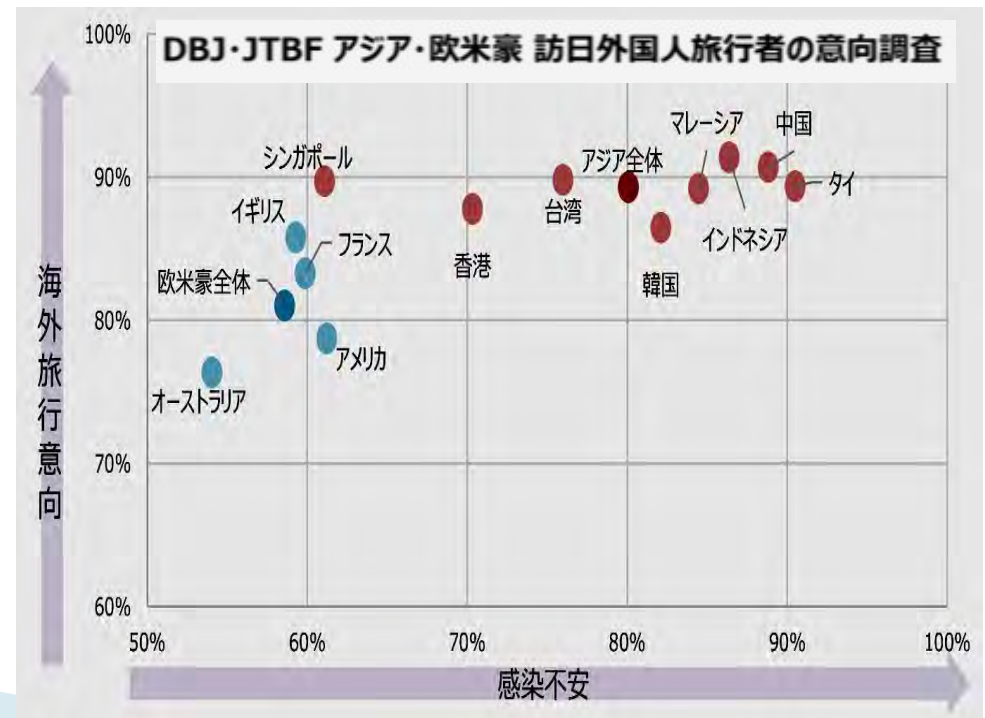
(国内 & 海外へ情報発信・

マーケティング戦略・人材育成)

☆「国民による海外旅行意向(抜粋)」

(DBJ/JTBFによる調査発表:2021.5.24) ⇒

(調査期間:2020年12月)

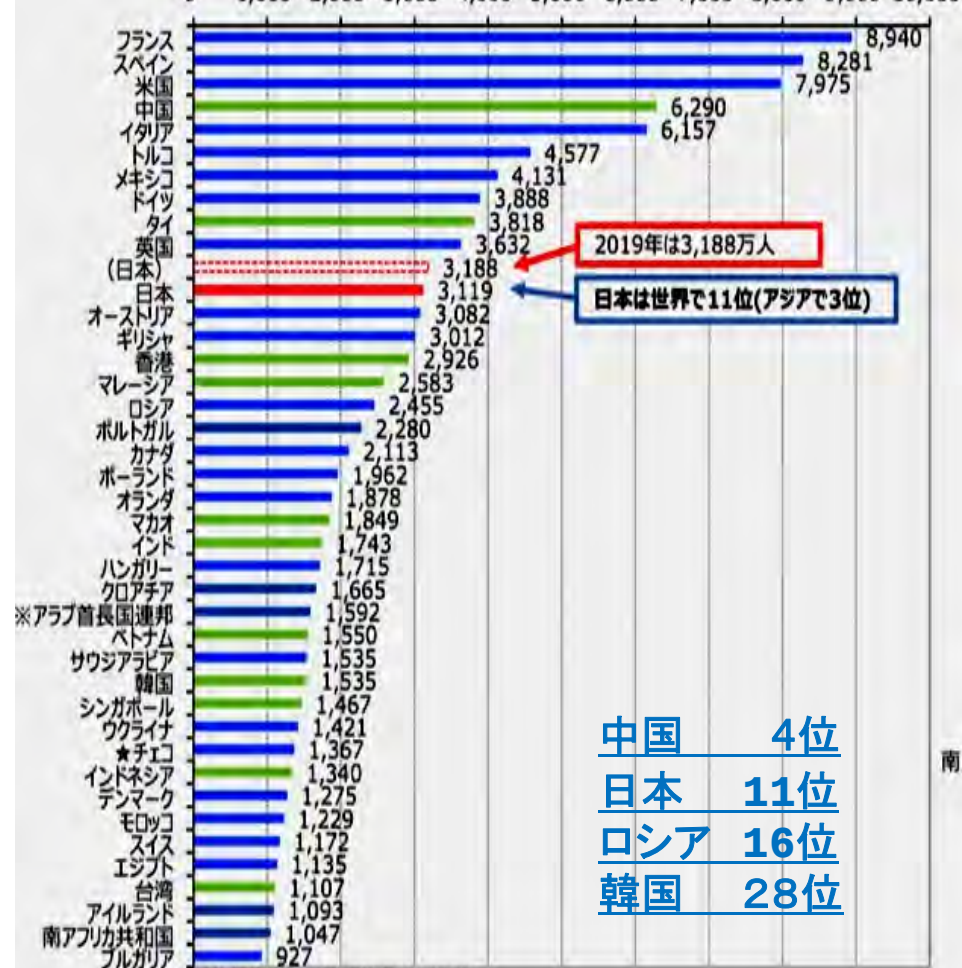


4. 北東アジア地域の復活&振興<国際観光(双方向)復活の鍵>

●「感染拡大抑止」(ビジネストラック・レジデンストラック・トラベルバブル)

●「国際観光活性化&手法」(情報発信・マーケティング戦略・観光人材共同育成)

インバウンド (2018年) (万人)



出典：UNWTO（国連世界観光機関）資料に基づき観光庁作成

注1：本書の数値は2020年5月時点の暫定値である。

注2：★印を付した国は、2018年の数値が未発表であるため、2017年の数値を採用した。

注3：アラブ首長国連邦は、ドバイのみの数値である。

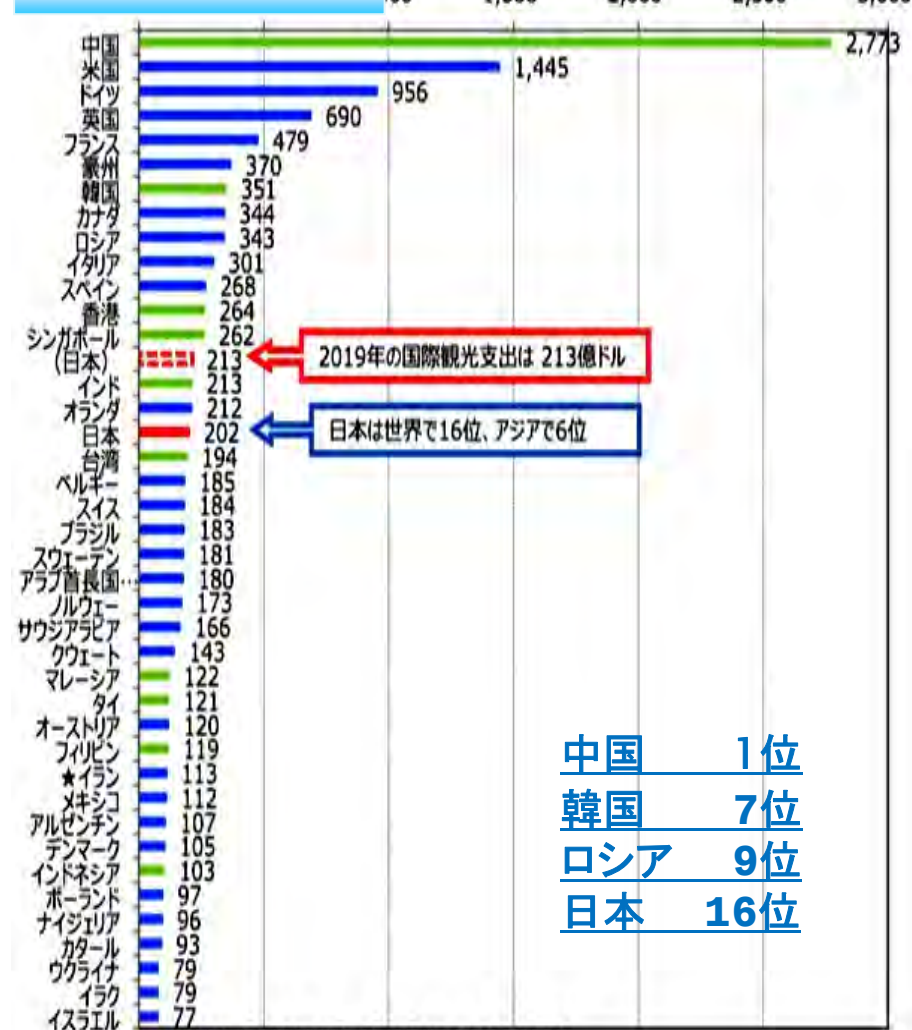
注4：本表で採用した数値は、日本、ロシア、韓国、ベトナム、台湾、豪州を除き、原則的に1泊以上の外国人訪問者数である。

注5：外国人訪問者数は、数値が追って新たに発表されたり、さかのぼって更新されることがあるため、数値の採用時期によって、その順位が変動する。

注6：外国人旅行者数は、各国・地域ごとに日本とは異なる統計基準により算出・公表されている場合があるため、これを比較する際には注意を要する。

(例：外国人旅行者数(クルーズ)について、日本の統計には含まれないが、フランス、スペイン、中国、韓国等の統計には含まれている)

アウトバウンド (2018年) (億米ドル)



資料：UNWTO（国連世界観光機関）、各国政府観光局資料に基づき観光庁作成

注1：本書の数値は2020年5月時点の暫定値である。

注2：★印を付した国は、2018年の数値が未発表であるため、2017年の数値を採用した。

注3：本書の国際観光支出には、国際旅客運賃が含まれていない。

注4：国際観光支出は、数値が追って新たに発表されたり、さかのぼって更新されることがある。

また、国際観光支出を米ドルに換算する際、その時ごとに為替レートの影響を受け、数値が変動する。

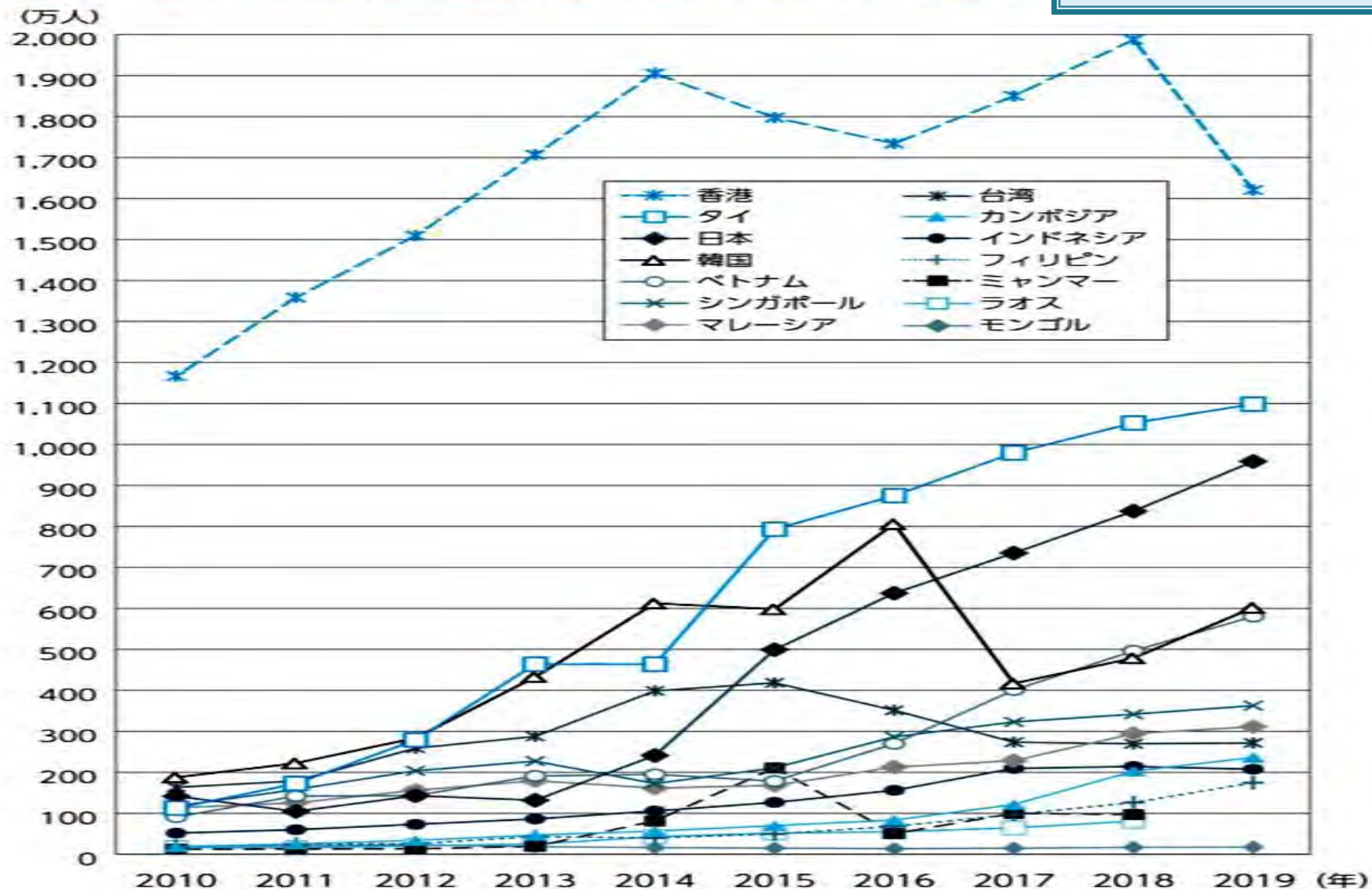
今後の北東アジア

(資料:JNTO「訪日旅行データハンドブック2020」)

[KEY]

- ☆中国人はどこに？
- ☆香港の伸び率は？
- ☆日本の伸び率は？
- ☆香港人はどこに？

アジア各国・地域への中国人訪問者数の推移（2010年～2019年）

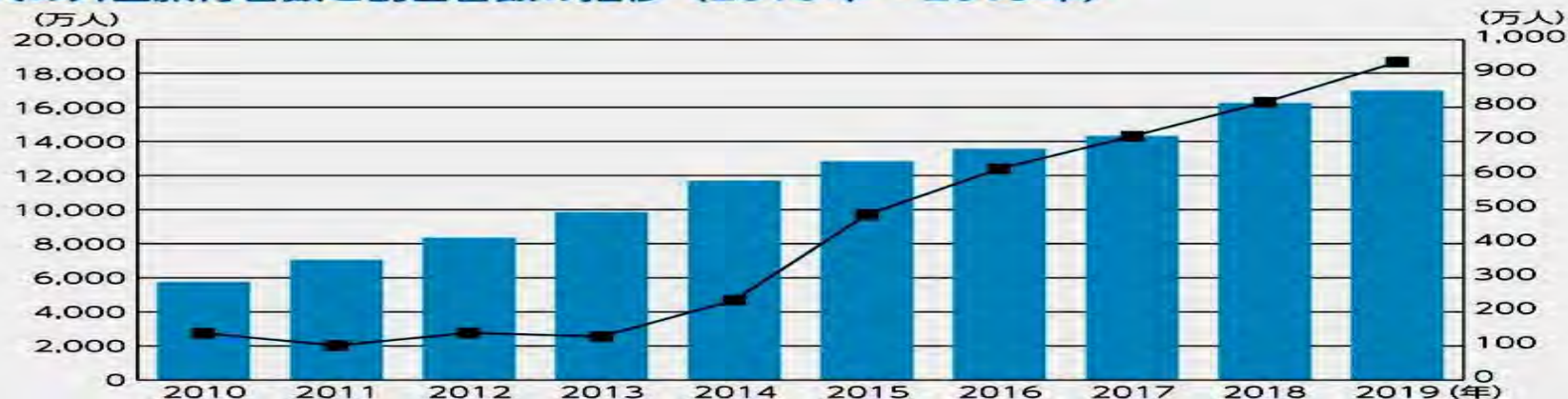


4-① 中国

(資料:JNTO)

☆伸びるアウトバウンド！
(量&質？)

(1) 中国人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2010年～2019年)



注1：中国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。また、香港、マカオ行きが含まれている。更に、航空機の乗務員が含まれている。

注2：上記の数値は、中国国家统计局が発表した数値である。一方、国連世界観光機関（UNWTO）が発表した数値では、2010年が5,738.6万人、2017年が1億4,303.5万人、2018年が1億4,972.0万人となっており、中国国家统计局の数値と乖離が見られる。乖離の理由については不明である。

出典：中国国家统计局、日本政府観光局（JNTO）

順位	訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	過去5年間の 最大値
1位	香港	TFR	19,077,014	17,996,827	17,364,946	18,526,210	19,901,957	19,901,957
2位	タイ	TFN	4,636,298	7,936,795	8,757,646	9,806,260	10,535,241	10,535,241
3位	マカオ	THSR	6,938,468	6,744,981	7,607,697	8,636,783	9,716,953	9,716,953
4位	日本	VFN	2,409,158	4,993,689	6,373,564	7,355,818	8,380,034	8,380,034
5位	ベトナム	VFR	1,947,236	1,780,918	2,696,848	4,008,253	4,966,468	4,966,468
6位	韓国	VFN	6,126,865	5,984,170	8,067,722	4,169,353	4,789,512	8,067,722
7位	シンガポール	VFR	1,722,380	2,106,164	2,863,634	3,228,134	3,417,604	3,417,604
8位	米国	TFR	2,224,787	2,628,570	3,049,942	3,173,915	2,991,813	3,173,915
9位	マレーシア	TFN	1,612,523	1,676,518	2,124,942	2,281,666	2,944,133	2,944,133
10位	台湾	VFR	3,987,152	4,184,102	3,511,734	2,732,549	2,695,615	4,184,102
11位	フランス	TFR	1,654,561	2,196,995	2,009,874	2,095,320	2,175,647	2,196,995
12位	インドネシア	VFN	1,052,705	1,260,700	1,556,771	2,093,171	2,139,161	2,139,161
13位	カンボジア	TFR	560,335	694,712	830,003	1,210,782	2,024,443	2,024,443
14位	ロシア	VFN	1,125,098	1,214,081	1,288,720	1,478,212	1,690,186	1,690,186

「外国人の中国旅行」

伸び悩む訪中外国人！

- ・外国人観光客にとっての
魅力・受入態勢が低下
(価格・ソフト面不足・混雑)
- ・マーケティング & PR 不足
- ・大気汚染、環境の悪さ。
- ・政治外交的な理由(日中関係)
- * (株)日中平和旅行社・営業停止
(2021年8月末にて)

資料)STATISTA.com

(含:日帰り客 2018年)

	Number of Tourist Arrivals (Unit in 1,000,000 persons)
Total Tourist Arrivals	141.2
Foreign Tourists	30.54
From Hong Kong	79.37
From Macau	25.15
From Taiwan	6.14

(資料:WIKIPEDIA)

伸び悩む！ 中国インバウンド
(香港 & マカオを除くと、3千万人)

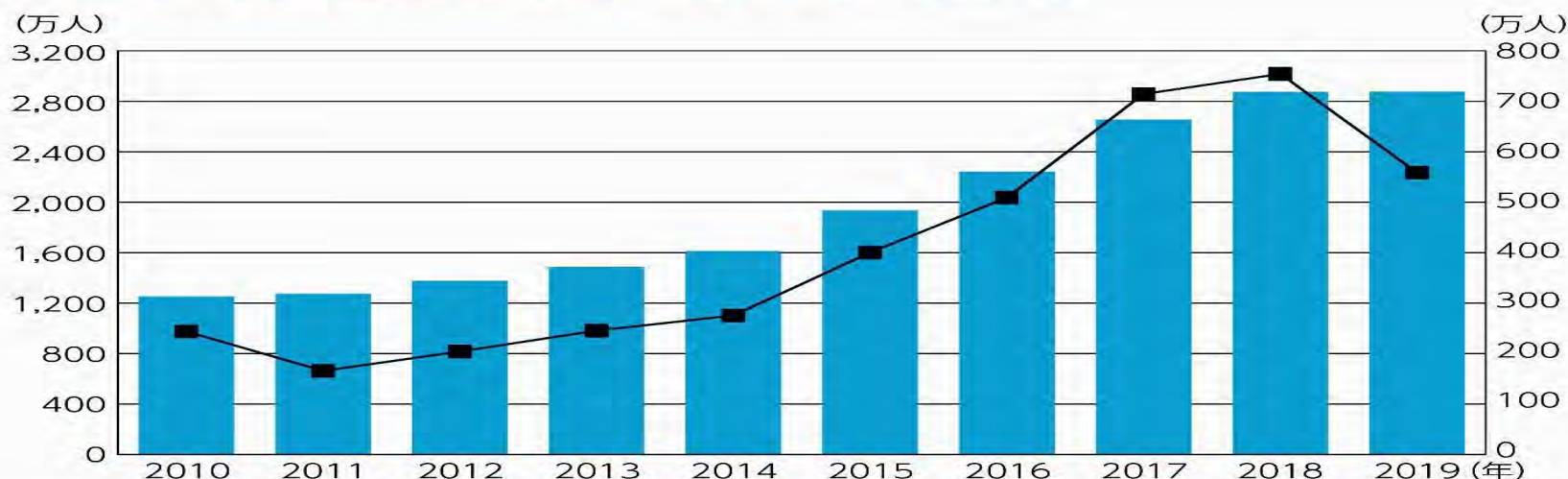
Country/Territory	2018	2017	2016	2015
 South Korea	▲4,193,000	▼3,863,800	▲4,775,300	▲4,444,400
 Japan	▲2,691,000	▲2,683,000	▲2,588,990	▼2,497,700
 United States	▲2,485,000	▲2,312,900	▲2,249,600	▼2,085,800
 Russia	▲2,415,000	▲2,356,800	▲1,976,600	▼1,582,300
 Vietnam	N/A	N/A	N/A	▲2,160,800
 Mongolia	▲1,916,000	▲1,864,500	▲1,581,200	▼1,014,100
 Malaysia	▲1,291,000	▲1,233,200	▲1,165,400	▼1,075,500
 Philippines	▲1,205,000	▲1,168,500	▲1,135,100	▲1,004,000
 Pakistan	N/A	N/A	▼949,000	▲1,141,500
 Singapore	▲978,000	▲941,200	▲924,600	▼905,300
 India	▲864,000	▲822,000	▲799,700	▲730,500
 Canada	▲850,000	▲806,000	▲741,300	▲679,800
 Thailand	▲833,000	▲776,700	▲753,500	▲641,500
 Australia	▲752,000	▲734,300	▲675,100	▼637,300
Total	▲30,543,000	▲29,165,300	▲28,150,120	▼25,985,400

4—② 韓国

(資料:JNTO)

☆アウトバウンド[世界7位]
韓国人出国率の高さ 52.1%
☆インバウンド[世界28位]
ビザ政策が上手！

(1) 韓国人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2010年～2019年)



外国人旅行者数 (左目盛)	1,248.8	1,269.4	1,373.7	1,484.6	1,608.1	1,931.0	2,238.3	2,649.6	2,869.6	2,871.4
うち、訪日客数 (右目盛)	244.0	165.8	204.3	245.6	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5

注：韓国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。また、航空機・船舶の乗務員が含まれている。

出典：国連世界観光機関 (UNWTO)、韓国文化観光研究院、日本政府観光局 (JNTO)

単位：人

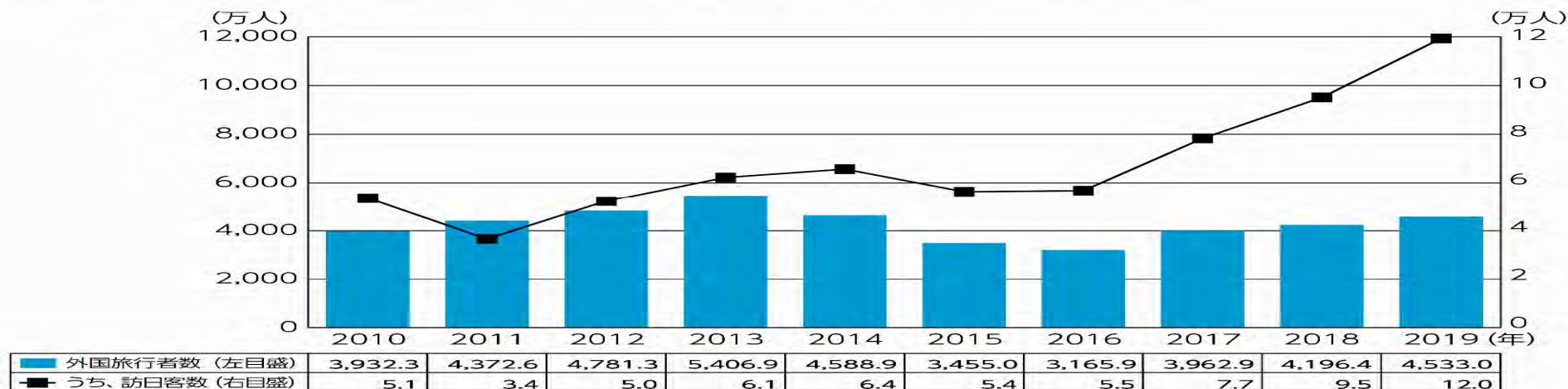
順位	訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	過去5年間の 最大値
1位	日本	VFN	2,755,313	4,002,095	5,090,302	7,140,438	7,538,952	7,538,952
2位	中国	VFN	4,181,700	4,444,389	4,762,163	3,854,869	4,191,790	4,762,163
3位	ベトナム	VFR	847,958	1,112,978	1,543,883	2,415,245	3,485,406	3,485,406
4位	米国	TFR	1,473,365	1,775,456	1,982,516	2,334,839	2,210,597	2,334,839
5位	タイ	TFN	1,122,566	1,373,045	1,464,200	1,709,265	1,796,426	1,796,426
6位	フィリピン	TFR	1,175,472	1,339,678	1,475,081	1,607,821	1,624,251	1,624,251
7位	香港	TFR	894,532	933,447	1,072,029	1,160,738	1,116,088	1,160,738
8位	台湾	VFR	527,684	658,757	884,397	1,054,708	1,019,441	1,054,708
9位	グアム	TFR	308,037	427,900	544,957	685,228	747,032	747,032
10位	シンガポール	VFR	536,975	577,082	566,509	631,363	629,454	631,363

4ー③ ロシア

(資料:JNTO)

☆アウトバウンド[世界9位]
少ない日本vs.急増の韓国
「トルコ」「タイ」へ多くの訪問
☆インバウンド[世界16位]

(1) ロシア人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2010年～2019年)



注：ロシア人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、ロシア連邦統計局、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのロシア人訪問者数の推移 (2014年～2018年)

単位：人

順位	訪問先	基準	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	過去5年間の 最大値
1位	トルコ	TFN	4,460,304	3,633,193	856,612	4,702,498	5,954,388	5,954,388
2位	中国	VFN	2,045,800	1,582,279	1,975,910	2,344,646	2,414,301	2,414,301
3位	カザフスタン	VFR	1,757,721	1,646,568	1,587,409	1,708,873	1,737,667	1,757,721
4位	ウクライナ	TFR	2,362,982	1,231,035	1,473,633	1,464,764	1,495,650	2,362,982
5位	タイ	TFN	1,606,430	884,136	1,090,083	1,346,338	1,472,789	1,606,430
6位	ジョージア	VFR	651,282	763,019	849,265	1,135,057	1,404,757	1,404,757
7位	スペイン	TFR	1,420,467	959,981	1,004,577	1,150,055	1,222,426	1,420,467
8位	アラブ首長国連邦	THSN					1,085,172	1,085,172
9位	イタリア	TFN	1,096,666	758,025	798,256	998,447	1,059,794	1,096,666
10位	アゼルバイジャン	VFR	843,851	685,555	742,132	853,082	878,391	878,391
25位	韓国	VFN	214,366	188,106	233,973	270,427	302,542	302,542
47位	日本	VFN	64,077	54,365	54,839	77,251	94,810	94,810

4ー④ モンゴル

(資料:AMICUS)

☆インバウンドの諸課題

季節変動(ON/OFF)

観光インフラ(ハード・ソフト)

YEAR	NUMBER OF TOURIST ARRIVALS	YEAR	NUMBER OF TOURIST ARRIVALS
2008	446,446	2009	492,836
2010	456,090	2011	460,360
2012	475,892	2013	417,815
2014	392,844	2015	386,204
2016	404,163	2017	469,309
2018	529,370	2019	577,297

Nº	TOP 10 COUNTRIES IN 2018	NUMBER OF TOURIST ARRIVALS
1	China	168,292
2	Russian	141,927
3	South Korea	101,279
4	Japan	24,419
5	USA	18,838
6	Kazakhstan	16,264
7	Germany	12,405
8	France	10,571
9	Australia	7,014
10	UK	5,930

★「(北東アジアでの)注目ツアー & 客層」

●団体旅行⇒FIT(個人旅行)化・リピーター・ファミリー旅行の拡大

例:ウラジオストク拠点ツアー(JAL & ANA就航/オークラホテル建設):女性一人旅/リピーター

●都会派⇒自然・地域・滞在派(エコツーリズム・ロングステイetc.)

例:「草原の我が家」(モンゴル)エコツアー & スタディツアープログラム

●アクティビティー化・アドベンチャー・ツーリズム(ハイキング・トレッキング・フィッシング・ワイルドフラワー/バードウォッチングetc.)

例:「カムチャッカ半島・大自然フラワーハイキング」「カムチャッカ・キングサーモン・フィッシング」

例:「幻想の氷上世界 冬のバイカル湖」

例:「ちょっとアクティブに遊ぶ女子旅、チェジュ島」(サイクリング、森歩き、馬旅、ミニバイク)

●ボーダー(国境)ツアー

例:中朝国境(吉林省・ロシア沿海、北朝鮮)・北東アジアのゴールドトライアングル

例:中蒙国境(内蒙古自治区・モンゴル)「どこまでも続く草原に国境線はない」(鉄道・バスetc.)

例:中国(吉林省)からバスで行くウラジオストク 4泊5日

例:身近な国境ツアー・(海上による)「釜山+対馬」「北海道(稚内)+サハリン」

●短期⇒長期化(ワーケーション・ブレジャー・ロングステイetc.)

例:「アジアでロングステイが拡大」⇒マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピンが中心。

(北東アジアで、開発 & プロモーションの必要あり)

★参考・ツアー企画:(株)フィールドワークス/(株)ワイルド・ナビゲーション/Travel Gallery/風の旅行社/
モンゴルホライズン社/(株)西遊旅行

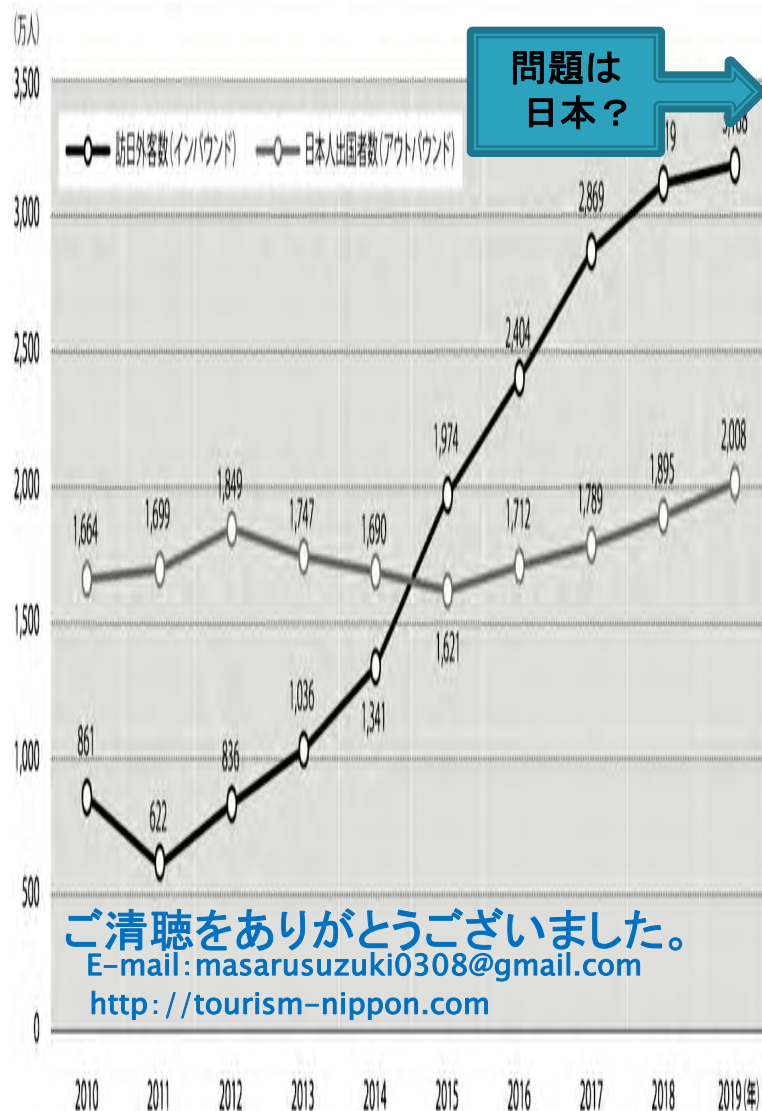
5. 最後に:「TWOWAY TOURISM(双方向交流)」の推進

「訪日外客数・日本人出国者数の推移」

(資料: 公益財団法人日本交通公社「旅行年報2020」)

「主要国・地域の出国率」

(資料: 数字が語る旅行業JATA 2020・JNTO/UNWTO)



ご清聴をありがとうございました。
E-mail: masarusuzuki0308@gmail.com
<http://tourism-nippon.com>

国・地域	出国者数 (千人)	伸び率 (%)	人口 (千人)	出国率 (%)
日本	18,954	6.0	126,494	15.0
韓国	26,928	8.4	51,663	52.1
中国	*143,035	*5.8	1,395,380	*10.3
台湾	16,645	6.3	23,603	70.5
香港	12,681	4.6	7,483	169.5
タイ	*8,963	*9.3	67,793	*13.0
シンガポール	10,378	4.9	5,639	184.0
インドネシア	*8,856	*6.2	264,162	*3.4
インド	*23,943	*9.5	1,334,221	*1.8
オーストラリア	11,061	5.0	25,168	43.9
米国	93,038	6.3	327,352	28.4
カナダ	33,440	2.2	36,994	90.4
英国	71,733	-1.4	66,466	107.9
フランス	*29,055	*9.7	64,725	*44.8
ドイツ	*92,402	*1.6	82,886	*111.7
イタリア	*31,805	*9.4	60,484	*52.5
スペイン	*17,031	*10.6	46,449	*36.8
ロシア	41,964	5.9	143,965	29.1

(注) 1. 本表の数値は、2019年8月時点の暫定値。
2. *印の出国者数・伸び率・出国率については、2017年の数値。
3. 韓国の出国者数は、日帰り客を含み、乗務員を除く。
4. 中国の出国者数は、日帰り客を除き、香港・マカオ行き、乗務員を含む。
5. 台湾、タイ、インドネシア、インド、米国、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、スペインの出国者数は、日帰り客を除く。
6. 香港の出国者数は、日帰り客を含む空路出国者数。
7. シンガポールの出国者数は、日帰り客、陸路でのマレーシア行きを除く。※陸路でのマレーシア行きを含んだシンガポール人出国者数は存在しない。
8. オーストラリアの出国者数は、1年未満の外国旅行をして帰国した旅行者を含む。
9. 英国、ロシアの出国者数は、日帰り客を含む。